

寺報

No.612

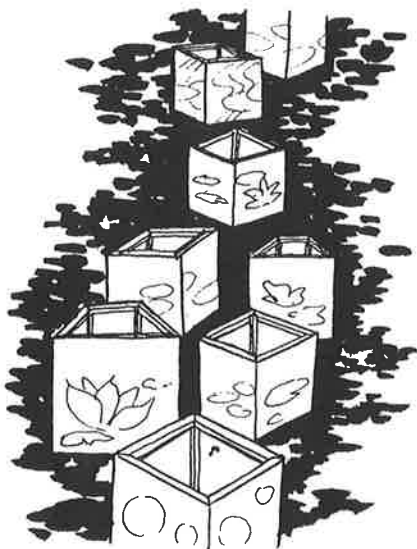
平成30年8月

蓮華寺
發行

御聖訓

ひと
人に尊卑上下はありといへども
おや
親を孝するにはすぎずと定められ
たるか。

『法門可申鈔』



精靈流し

(解説)

「人には身分の上で尊卑上下の別はありますが、親に孝行をするという行いは、その身分に関わらず、非常に尊い事であると、お釈迦様の教えには定められています。」

日蓮大聖人の教えの根本は、報恩感謝です。

しかし、現代人の多くはそれに背き、不正・不信・背徳・裏切りといった社会的病いに日々悩まされているのが現状です。

常に自分中心にもの事を考え、自分の欲の為に他人を裏切り、更に他人をも恨むといった風潮が蔓延しているのです。

その結果、毎日のように殺人などの事件が起きているのではないのでしょうか。

誰もが、法華経・お題目の信仰を持ち、人に、物に、社会に、また御先祖に感謝し、そして、そこに生かされている事の喜びを感じる事が出来たら、この世は素晴らしい浄土となるのです。

今月は『お盆』の月です。

亡き父母にも報恩感謝の志しをたむけましょう。

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の棚経（たなきょうしやうりやうだな）（精霊棚（しょうりやうだな））に対してお経を上げる）を八月の十四日より十六日まで青森の『旧市内』を回り、十七日より二十日まで、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家を回っております。しかし一週間の期間しかありませんので、数多くは回れないのが現状です。

特に最近では青森も住宅事情により、各家庭が新市内へと移動して行きました。

その点、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

でも十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行わなければならない状況から、多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、それ以外の方は、例年通りの日時にお伺いする

予定です。

また毎年お盆になりますと、檀家さんから「お経が短い」「棚経を忘れられた」とお叱りをよく受けます。

お盆は、限られた期間、限られた人数が、限られた時間に対応しなければなりませんので、お経が短くなります事をご理解戴き、何とぞご容赦願いたいと思えます。

他県のお坊さんが勘違いをしまして、まれに落とす場合があるかも知れませんので、その時はすぐにお寺にご連絡下されば善処致します。

また皆様も、お正月に求めて戴く『御守護札』を、玄関にしっかり張っておいて下されば、はずす事はないと思いますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

お盆の追膳（位牌堂・三階永代供養堂）

*十四日・十五日・十六日の三日間・・・千五百円
数に限りがありますので、お早目にお申込み下さい。（受付中）

お盆の日程

当山では、次の日程でお盆行事を執り行います。

十二日（日） 午前十時半頃

※当山の永代供養塔・水子観音・動物供養塔・日蓮大聖人銅像・浄行菩薩等のご供養

十三日（月） 午前六時～午後四時迄

※三内霊園墓経〔他の霊園には参りません〕
※位牌堂〔僧侶が位牌堂で読経します〕

十四日（火）～十六日（木）

※旧市内の棚経 午前八時～一日中
〔十三日～十六日迄は葬儀や法事、ご祈祷、霊断等は出来かねます〕

十七日（金）～二十日（月）

※檀家よりご依頼のある新市内の棚経
〔ご希望の方は、あらかじめご予約下さい〕
二十一日（火）

※『施餓鬼供養会』 昼十二時半より
【お盆の最後の行事です、必ず参拝・お焼香下さい】
〔詳細は事務所まで！ 776-5840〕

施餓鬼供養会

八月二十一日（火） 昼十二時半より当山の年に一度の『施餓鬼供養会』が行われます。

お施餓鬼には、皆様の先祖代々の諸精霊（しよしょうりやう）や新盆（にいぼん）に当ります仏様の供養はもちろんです。特に普段から供養の行き届いていない精霊にも、お塔婆を上げて供養する事が大切です。

例えば、水子の霊・地主の霊・土地に縁する処の精霊・自分に頼る処の精霊・畜生（ちくしやうぶい）類の霊などです。

特に『畜生類の霊』には、皆様が可愛がっていたペットや、日頃我々の身を養ってくれる牛・豚・鳥などの動物、お魚等の生き物の霊が上げられます。

皆様が、家族同様に愛情を注がれ、時に心をなごましてくれた愛犬や愛猫などのペットの霊、また我々の為に、その生命を犠牲にしてくれた生き物の霊、これ等への感謝も忘れてはいけません。

我々日蓮宗の檀信徒は、仏様の命を受け継ぐ総ての生き物を、法華経・お題目の力によって、救って上げなければいけない使命があります。

その為に行われるこの塔婆供養は、特別な効果があるのです。

皆様も、ともすれば日常の生活に追われて、大切なご先祖・仏様の供養も、感謝の気持ちも忘れがちになると思います。

どうかその感謝の気持ちをお塔婆に表わし、心から報恩の誠を捧げようではありませんか。

そして自ら法要に参列し、共にお題目とお経を唱え、お焼香をして下さい。

* 塔婆供養・・・一霊千円



『風車』の募集!

境内に安置しています『水子観音』専用の「風車」をご供養の為にお願いします。

価格は一体七百円で、葉の部分に名前などを書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。



水着にも必ずお守りを!

せっかくの楽しい夏休みも子供さん、お孫さん達に事故があつては大変です。

特にお守りを身に着けられない、海やプールは危険で何が起るか分かりません。

ご家族の方が工夫して、お守りを濡れないようにラップなどに包み、水着のポケットに着けて下さい。

また、水着にポケットがない場合は、水着に簡単な袋などを作ったりして、必ずお守りを着けさせるようにして下さい。

水着用に、お守りを一枚別に用意しておくとも便利だと思います。



②「お守りを持っていても、子供が中々身に着けてくれない」とよくお話を聞きますが、無理に首に下げさせなくてもよいですから、工夫してポケットや肌着などに着けてもらい、決して身体より離さない事だけをご指導して下さい。

蓮華寺聖徒団

定時総会開催さる!

去る六月二十四日(日)、蓮華寺聖徒団の平成三十年度の定時総会(第六十回)が、沢山のご参加を戴き、秋田県能代市にあります『本澄寺』を会場に開催されました。

今回秋田県のお寺は初めての参拝でしたが、非常に温かく歓迎して戴き、皆心から感謝しました。

御住職の『柴田寛彦』上人による法味言上とお寺の縁起等のお話をして戴いた後、総会へと入りました。

総会では『角田堯淳』団長上人のご挨拶、各役員の紹介、会計監査報告、収支決算の承認が行われました。

そして、みんなで最近減りつつある聖徒団の会員を増やし、まだお守り(霊神符)を持っていない方にも勧める事も大事であるが、その為にはまず【霊断】をみ

てもらふ事が必要なのではないかと決議されました。

その後、会場を「ホテル・サンルーラル」に移しまして、昼食・温泉と楽しみ、大変有意義な一日を過ごす事が出来ました。

聖徒団会員の募集

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

会員の特典としましては、毎月ついでに「盛運祈願会」の中で、任職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

更に『定時総会』等のお知らせ、また総会の懇親会の援助に使わせてもらっています。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の一部など、会発展の為にさまざまな面で会費を活用させて戴いておりますので、

どうかご理解とご協力をよろしくお願い致します。

詳しくは、蓮華寺「玄関」に、聖徒団の『平成二十九年度の収支決算書』『平成三十年度の収支予算書』を用意してありますのでご参考にして下さい。

なお、三年以上会費を滞納しました会員は、自動的に退会となりますのでご了承下さい。

今後も、蓮華寺聖徒団は新会員をどしどし募集しておりますので、出来れば毎月ついでに私たちの日に事務所にお申込み下さい。

青森蓮華寺聖徒団役員

団長 角田 堯淳

総務部長	齊藤 豊	会計部長	白取つじ子
布教部長	杉淵 昌三	会 計	齊藤 慶成
庶務部長	関 義蔵	書 記	角田喜代美
婦人部長	三浦ナツコ	監 事	小野 豊秀



どうぞ今年度もよろしくお願い致します！

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【相談料は原則、一件三千円となります】

（注）僧侶の指名はスケジュールの関係上、必ず御予約下さい。

☎776-5840

『位牌壇』募集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

お知らせ

（注）八月二日（木）～六日（月）の『ねぶた祭』期間中は、交通規制の関係で、お寺は午後四時に閉門しますので、ご了承下さい。

◎今月の『檀信徒研修会』はお休みとなります。

八月の行事

一日（水）盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十日（金）日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- ・ 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- （注）八月はお盆の為、十日の日にご回向しますので、お間違いのないようにご参拝下さい。

十三日（月）～二十日（月）

『お盆』・『寺報』の2頁を参照して下さい。

二十一日（火）『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

☆奉仕のお知らせ

お盆の追膳

- 十四日（火）【午前六時～八時頃】夕【午後三時～五時頃】です。お手伝い出ます方はどなた様でも結構ですので、時間迄お集まり下さい。
- 十五日（水）
- 十六日（木）

十八日（土）施餓鬼供養会の準備

・ 男女共・午前十時半より

二十一日（火）施餓鬼供養会のお手伝いと後片付け

・ 男女共・午前十時より

*お施餓鬼は、先祖供養の為の精霊棚や流し供養の船の準備、また塔婆供養の仕度などがあります。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
教宣部長・杉淵昌三

『提灯』の募集！

「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」に下げます『提灯』（トローラー）を限定一個募集致します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

せ が き く よ え 施 餓 鬼 供 養 会

八月二十一日 (火)

昼十二時半より



(追善塔婆供養)

- * お塔婆のお申込みは各霊一霊につき千円です。
- * 新盆の仏様は必ずご供養してあげましょう。
- * 当日はおいそがしくとも、法要に参列し、お焼香し一緒にお経・お題目を唱えるようにしましょう。
- * お経は

◎如来寿量品第十六・真読 (漢字読み)

◎提婆達多品第十二・訓読 (日本語読み)

中ごろ「大智徳勇健にして～」を読みます